

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第380回

メアリー・ケイ・アッシュ

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和6年2月29日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

People fail forward to success.

人は失敗して成功する。

メアリー・ケイ・アッシュはアメリカの実業家であり、メアリーケイコスメティックス社の創設者でした。彼女の死後、彼女は9,800万ドルの財産を持ち、彼女の会社の売上高は12億ドルを超え、少なくとも3人で80万人以上の営業部隊を抱えていました。

Column

私たちの背中を押してくれるメッセージだと感じます。ことわざにも『失敗は成功のもと』というものがあるように、失敗したことによって成功に向かう多くのヒントを得ることができると私は考えます。“だから何度もチャレンジするべきなんだよ！” “だから失敗って失敗じゃないんだよ！” “多くの失敗と成功を繰り返して人は生きていくんだよ！” とメアリー氏のエールが聞こえてくるようです。

失敗からリスタートまでにかかる時間は失敗した内容や人それぞれの性格などによって違うと思いますが、より良いリスタートのために最も重要な部分は“反省（分析・対策）”だと考えます。私は失敗した時“早く取り返さなきゃ！”と焦りが生まれ、失敗に対する対策の甘さから同じ失敗を繰り返してしまった経験があります。その時は、自分の失敗によって人に迷惑をかけたこと、その人からの信頼を失ったこと、“自分はこんなこともできないのか…”という自分に対する失望から、チャレンジどころか行動することに怖さを感じるようになりました。成功したいという“欲”は誰にでもあるものですが、成功するためには失敗やリスクを負うことを覚悟しなければなりません。うまくいかないと落ち込みます。時には誰かのせいにしたくなる（した）こともあったでしょう。今回のメアリー氏のポジティブな言葉に対しても『成功して余裕があるから言えるんだ』と攻撃したくなるかもしれません。『それはただの八つ当たりだよ！』と諭しても、なかなか聞く耳を持ってないでしょう。私は甘いかもしれませんが八つ当たりの思考に陥ることがあっても仕方ないと思っています。ただ、できる限り思考だけで留めておきましょう。失敗した時、大ピンチの時、そばにいてくれる仲間を大切にしましょう。そばにいてあげられる自分でいましょう。きっとメアリー氏もそんな自分に成長し、失敗しても再チャレンジに向けて一緒に進んでくれる仲間も手に入れたことで“成功”の方がメアリー氏に近づいて来たのかもしれませんが、一人でも楽しめることが山ほどある便利な時代になりましたが、そんな中でも人の幸せは人との関係で作られると信じています。正智深谷高校で育んだ最高の仲間との絆をこれからも大切にしてほしいと願っています！新たな舞台に飛び立つ卒業生のみならず、正智生みなさんに幸あれ！